

2019 年度 情報処理学会 東海支部報告会

日時：2019 年 5 月 20 日(月) 15:00～15:50
会場：ホテル ルブラ王山 千成の間

次第

- I 開会の辞
- II 支部長挨拶
- III 報告事項
 - 1 2018 年度事業報告
 - 2 2018 年度決算報告
 - 3 2019 年度運営委員改選結果報告
 - 4 2019 年度運営委員
 - 5 2019 年度事業計画
 - 6 2019 年度予算
 - 7 その他
- IV 閉会の辞

添付資料

- 資料 1 2018 年度会議日程
- 資料 2 2018 年度連合大会資料
- 資料 3 2018 年度主催講演会一覧
- 資料 4 2018 年度研究会等協賛・後援一覧
- 資料 5 2018 年度学生研究発表助成
- 資料 6 2018 年度学生論文奨励賞選定結果
- 資料 7 2018 おもしろ科学教室結果報告

一般社団法人情報処理学会東海支部

【事務局】 名古屋市中区大須 1-35-18 一光大須ビル 7 階
公益財団法人中部科学技術センター内
Tel: (052) 231-3564 E-mail: Shibu@ipsj-tokai.jp
<http://www.ipsj-tokai.jp/>

1.2018年度事業報告

1.1 支部報告会（詳細は資料1参照）

計画：1回 実績：1回

1.2 運営委員会（詳細は資料1参照）

計画：3回 実績：3回

※当年度第3回と次年度第1回は共同開催

1.3 幹事会（詳細は資料1参照）

計画：5回 実績：5回

1.4 支部大会（電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会として主催）

計画：1回 実績：1回

※詳細は資料2参照

1.5 主催講演会

計画：6回 実績：6回

※詳細は資料3参照

1.6 研究会等 協賛・後援

計画：随時 実績：11回（協賛、後援）

※詳細は資料4参照

（学生向け事業）

1.7 学生研究発表会助成

計画：1件 実績：1件

※詳細は資料5参照

1.8 学生論文奨励賞

計画：1回 実績：1回 表彰者 6名

※詳細は資料6参照

（若年層向け事業）

1.9 おもしろ科学教室

計画：1回 実績：1回 子供参加者 130名

第10回おもしろ科学教室

開催日：平成31年1月14日（月）祝日 会場：名古屋大学

※詳細は資料7参照

1.10 ジュニア会員制度

小中高校生、高専生、大学学部1～3年生 対象、会費無料

URL <https://www.ipsj.or.jp/member/junior.html>（支部の状況）

会員数

2019年3月31日時点

名誉会員 4名

正会員 1,248名

学生会員 324名

ジュニア会員 122名

計 1,694名

賛助会員 26社（28口）

2018年3月31日時点

名誉会員 3名

正会員 1,209名

学生会員 295名

ジュニア会員 56名

計 1,560名

賛助会員 27社（29口）

2. 2018年度収支報告

1. 収入の部

(単位:円)

収入科目	2018年度	
	予算額	決算額
(1) 交付金	3,459,000	3,295,000
(2) 連合大会収入	923,000	771,121
(3) 助成金	60,000	50,000
(4) 雑収入	0	0
年度収入計(A)	4,442,000	4,116,121

2. 支出の部

(単位:円)

支出科目	2018年度	
	予算額	決算額
(1) 事業費	1,811,000	1,357,555
支部大会(連合大会)費	1,273,000	967,749
講演会・研究会費	300,000	175,998
支部助成金費	50,000	42,000
支部表彰費	94,000	92,648
おもしろ科学教室	57,000	50,000
かがくであそぼ広告掲載費	37,000	29,160
新事業調査(連続セミナー)	0	0
(2) 管理費	2,223,000	2,090,262
年次報告会費	237,000	199,210
会議費	112,000	48,138
事務委託費	1,801,000	1,800,900
通信費	10,000	9,699
消耗品費	7,000	2,790
雑費	56,000	29,525
年度支出計(B)	4,034,000	3,447,817

3. 収支

(単位:円)

支出科目	2018年度	
	予算額	決算額
単年度収支(A-B)	408,000	668,304
前年度累積収支(繰越金)	1,518,268	1,518,268
累積収支(翌年度への繰越金)	1,926,268	2,186,572

3. 2019年度支部運営委員改選結果報告

選挙期間：2019年2月1日～2019年2月28日

A：投票用紙発送数 1, 118件（1月現在会費納入済の正会員および名誉会員）

B：投票数 220票

C：投票率 $[B/A]$ 19.7%

D：開票結果

役 職	候補者氏名	得票数
支部長	大島 哲也	209
副支部長	間瀬 健二	211
幹 事	奥田 隆史	207
〃	田口 亮	205
〃	鈴木 康人	205

E：候補者以外の選定

梶 克彦(愛知工大) 1票

退任者

支部長 村瀬 洋（名古屋大）

副支部長 大島 哲也（元）トヨタコミュニケーションシステム）

幹 事 白松 俊（名工大）

幹 事 出口 大輔（名古屋大）

幹 事 丹羽 恒（中部電力）

留任者

幹 事 鈴木 秀和（名城大学）

幹 事 鳥居 豊（デンソーITソリューションズ）

幹 事 森崎 修司（名古屋大学）

以上

4. 2019年度東海支部運営委員

*新任、**再任、無印2年目

支部長	*	大島 哲也	元)トヨタコミュニケーションシステム
副支部長	*	間瀬 健二	名古屋大学
幹事	*	奥田 隆史	愛知県立大学
幹事		鈴木 秀和	名城大学
幹事	*	鈴木 康人	中部電力
幹事	*	田口 亮	名古屋工業大学
幹事		鳥居 豊	デンソーITソリューションズ
幹事		森崎 修司	名古屋大学
委員	*	浅井 徹	あいち産業科学技術総合センター
委員		伊藤 孝行	名古屋工業大学
委員	**	伊藤 憲生	OKI ソフトウェア
委員		稲垣 宏	豊田工業高等専門学校
委員	*	枝廣 正人	名古屋大学
委員		大野 和彦	三重大学
委員		小笠原 秀美	中京大学
委員	*	粕谷 英人	愛知県立大学
委員		草刈 圭一朗	岐阜大学
委員		上口 光	信州大学
委員		杉浦 宏幸	中部電力
委員	*	鈴木 幸太郎	豊橋技術科学大学
委員	*	玉森 聡	愛知工業大学
委員	**	谷口 和宏	デンソー
委員		徳永 賢一	トヨタ自動車
委員	*	坂野 秀樹	名城大学
委員		深谷 宏一	メイテツコム
委員	**	増澤 智昭	静岡大学
委員	*	山本 一公	中部大学
委員	*	横山 哲郎	南山大学

5. 2019年度事業計画

5.1 支部報告会

計画：1回

5.2 運営委員会

計画：3回

※当年度第3回と次年度第1回は共同開催。

5.3 幹事会

計画：5回

5.4 支部大会（電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会として主催）

計画：1回

5.5 主催講演会

計画：6回

※本日の特別講演会を含む。

5.6 研究会等協賛・後援

計画：随時

※主催計画はなく、随時協賛・後援等を行う。

（学生向け事業）

5.7 学生研究発表会助成

計画：1件

5.8 学生論文奨励賞

計画：1回

（若年層向け事業）

5.9 おもしろ科学教室

計画：1回

5.10 ジュニア会員制度

「ジュニア会員制度」を支部事業の機会あるごとに周知する。

6. 2019年度予算(案)

1. 収入の部

(単位:円)

収入科目	2018年度		2019年度
	予算額	決算額	予算額
(1) 交付金	3,459,000	3,295,000	3,205,000
本部交付金	2,719,000	2,575,000	2,465,000
賛助金還元分	540,000	520,000	540,000
助成金	200,000	200,000	200,000
(2) 連合大会収入	923,000	771,121	876,000
(3) 助成金	60,000	50,000	60,000
(4) 雑収入	0	0	0
(A) 年度収入計	4,442,000	4,116,121	4,141,000

2. 支出の部

(単位:円)

支出科目	2018年度		2019年度
	予算額	決算額	予算額
(1) 事業費	1,811,000	1,357,555	1,643,000
支部大会(連合大会)費	1,273,000	967,749	1,067,000
講演会・研究会費	300,000	175,998	338,000
支部助成金費	50,000	42,000	100,000
支部表彰費	94,000	92,648	94,000
おもしろ科学教室	57,000	50,000	7,000
かがくであそぼ広告掲載費	37,000	29,160	37,000
新事業調査(連続セミナー)	0	0	—
(2) 管理費	2,223,000	2,090,262	2,240,000
年次報告会費	237,000	199,210	237,000
会議費	112,000	48,138	112,000
事務委託費	1,801,000	1,800,900	1,818,000
通信費	10,000	9,699	10,000
消耗品費	7,000	2,790	7,000
雑費	56,000	29,525	56,000
(B) 年度支出計	4,034,000	3,447,817	3,883,000

3. 収支

(単位:円)

支出科目	2018年度		2019年度
	予算額	決算額	予算額
単年度収支(A-B)	408,000	668,304	258,000
前年度累積収支(繰越金)	1,518,268	1,518,268	2,186,572
累積収支(翌年度への繰越金)	1,926,268	2,186,572	2,444,572

2018年度支部報告会・運営委員会・幹事会日程

会議名		開催日		時刻	場所	参加人数	参加者
支部報告会 (支部報告20分) (本部報告30分)		2018/5/28	(月)	15:00～15:50	ホテル ルブラ王山	34名	旧年度支部役員、当年度支部役員、 旧年度運営委員、当年度運営委員、事務局、一般会員
運営委員会	旧年度第3回 当年度第1回	2018/5/28	(月)	14:00～14:45	ホテル ルブラ王山	27名	旧年度支部役員、当年度支部役員、 旧年度運営委員、当年度運営委員、事務局
	当年度第2回	2018/11/26	(月)	14:00～14:50	東桜会館	19名	当年度支部役員、当年度運営委員、事務局
	当年度第3回 翌年度第1回	2019/5/20	(月)	14:00～14:45	ホテル ルブラ王山		当年度支部役員、翌年度支部役員、 当年度運営委員、翌年度運営委員、事務局
幹事会	第1回	2018/4/5	(木)	17:00～19:00	アビームシステムズ(株) 会議室	14名	旧年度支部役員、当年度支部役員、事務局
	第2回	2018/6/20	(水)	17:30～19:00	名古屋大学IB電子情報館南 棟 4F462室	9名	当年度支部役員、事務局
	第3回	2018/10/17	(水)	18:00～19:30	トヨタデジタルクルーズ本 社	10名	当年度支部役員、事務局
	第4回	2018/11/13	(火)	17:00～18:50	名古屋大学IB電子情報館南 棟 4F462室	10名	当年度支部役員、事務局
	第5回	2019/2/20	(水)	17:30～18:50	名古屋大学IB電子情報館南 棟 4F462室	10名	当年度支部役員、事務局
学生論文奨励賞 選定委員会	2017年度	2018/4/13	(金)	18:00～19:00	名古屋大学 IB電子情報館南 棟4F462	8名	(前年度) 1 委員長 + 9 委員 + 事務局

2018年度支部大会(電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会)概要

1 大会の概要

- (1) 期日：2018年9月3日（月）～ 4日（火）（4日は台風の影響により中止）
- (2) 会場：名城大学
- (3) 主担当学会：電子情報通信学会東海支部
- (4) 主催：電気学会東海支部、電子情報通信学会東海支部、情報処理学会東海支部、
照明学会東海支部、映像情報メディア学会東海支部、日本音響学会東海支部、
IEEE名古屋支部

共催：電気設備学会中部支部、名城大学

(5) 催事内容

- ・特別講演：1件
演 題：「リチウムイオン電池の開発物語」
講 師：名城大学大学院理工学研究科教授、旭化成名誉フェロー 吉野 彰 氏
- ・企画セッション：7件
演 題：「IoT 時代を支える無線通信・ネットワーク技術とその応用」
「コンピューショナルフォトグラフィの基盤技術と応用」
「地域エネルギー需給の最適化」
「次世代光通信システム」
「多彩な大気圧放電とその現象・メカニズム」
「ワイヤレス電力伝送 --電力技術と高周波技術の壁を越えて--」
「東海地区のモータドライブ技術」
- ・チュートリアル/シンポジウム：3件
(情報処理学会チュートリアル)
「政策決定に AI が活用される 30 年後の社会」
講 師：福田 幸二 氏
(日立製作所 日立未来課題探索共同研究部門(日立京大ラボ)主任研究員)
伊藤 孝行 氏(名工大 NITech AI 研究センター センター長)
「ディペンダビリティの可視化～ArchiMate による安全分析結果の表現」
講 師：小林 展英 氏(株式会社デンソークリエイト)
(電気学会シンポジウム)
「次世代パワーエレクトロニクスの最新要素技術とその将来動向」
- ・一般講演 437件（オーラル：382件、ポスター：55件）
(平成29年度448件、平成28年度490件、平成27年度597件、平成26年度563件、平成25年610件)
- ・企業展示 今年度はなし
(平成29年度3社、平成28年度5社、平成27年度4社、平成26年度12社、平成25年度3社)
- ・広告・援助企業数 22社
(平成29年度38社、平成28年度34社、平成27年度31社、平成26年度49社、平成25年度29社)
- ・特別講演参加者数 72名
(平成29年度50名、平成28年度76名、平成27年度130名、平成26年260名、平成25年度126名)
- ・懇親会参加者数 50名
(平成29年75名度、平成28年度81名、平成27年度96名、平成26年度119名、平成25年度73名)
- ・大会参加者数 512名（一日目終了時点）
(平成29年度800名、平成28年度945名、平成27年度1036名、平成26年度1255名、平成25年度1005名)
- (6) 奨励賞
審査希望申請者数：計309名
(平成29年度321名、平成28年度327名、平成27年度488名、平成26年度439名、平成25年度483名)
奨励賞選考数：計31 件 ※奨励賞、電気学会B賞、IEEE学生奨励賞の合計
(平成29年度32名、平成28年度33名、平成27年度50名、平成26年度45名、平成25年度48名)
情報処理学会所属受賞者
連合大会奨励賞：7名（10月中旬選定）（平成29年度7名）

2 情報処理学会東海支部所属の委員

(1) 大会委員会

委員：村瀬 洋(名大)

庶務幹事：鈴木 秀和(名城大)

(2) 実行委員会

幹事：鈴木 秀和(名城大)

委員：出口 大輔(名大)

事務局：宮島 和恵(情報処理学会東海支部)

(3) 現地委員会

幹事：鈴木 秀和(名城大)

委員：亀谷 由隆(名城大)

(4) プログラム編集委員会

委員：新谷 虎松(名工大)・白松 俊(名工大)・久徳 遥也(名大)

3 委員会

(1) 大会委員会

第1回 2018年 4月13日(金) 於 名古屋大学 IB電子情報館北棟5F 電気系会議室
議題：開催日程・実施概要他

第2回 2018年 7月30日(月)～8月1日(水) メール審議
議題：プログラムの決定

第3回 2019年1月22日(火) 於 ルブラ王山
議題：事業決算報告・奨励賞贈、次回への申し送りなど

(2) 実行委員会

第1回 第1回大会委員会と同時開催

第2回 2018年8月17日(金) 於 名古屋大学 IB電子情報館北棟5F 電気系会議室
議題：大会プログラム

第3回 2018年9月4日(火) 台風のため中止
議題：大会運営、今年度大会の報告・反省・申し送り事項

第4回 第3回大会委員会と同時開催

(3) プログラム編集委員会

2018年7月18日(水) 名古屋大学 IB電子情報館北棟5F 電気系会議室

4 次年度以降の予定

2019年度(平成31年度)

会場校：大同大学

日程：2019年9月9日(月)、10日(火)

主担当学会：電気学会東海支部

2020年度(〇〇〇年度)

会場校：愛知県立大学

日程：未定

主担当学会：情報処理学会東海支部

以上

情報処理学会東海支部 主催講演会一覧

年度 回数	開催日 担当 会場 参加者数	テーマ（演題） 講師 所属・役職
2018年度 1 累計56名	2018/5/28 小幡	「レッドシリコンバレー／中国深圳のIT最前線現場レポート」
	ルブラ王山	前田淳一郎氏
	56名	アビームコンサルティング（深圳） 董事総経理
2 累計76名	2018/7/25 森崎	「ソースコードの目視評価と解析を組合せた品質評価の取組み」
	名古屋大学	笠井 則充氏
	20名	三菱電機株式会社 通信機製作所
3 累計118名	2018/9/3 白松	「政策決定にAIが活用される30年後の社会」（東海支部連合大会と共催）
	名城大学	福田 幸二氏 日立京大ラボ主任研究員、
	42名	伊藤 孝行氏 名古屋工業大学NITech AI研究センター長
4 累計141名	2018/10/12 鳥居	「量子コンピュータの商用化動向」
	名古屋大学	小野寺 民也氏
	23名	日本IBM株式会社 東京基礎研究所副所長 技術理事
5 累計164名	2018/11/26	第2回運営委員会同日開催
	丹羽	「中部電力グループが取り組むサイバーセキュリティ ～社会インフラ防護のためのセキュリティ施策～」
	東桜会館	鈴木 康人氏
	23名	中部電力株式会社 ITシステムセンター 総括グループ 副長
6 累計209名	2019/1/29 鈴木	「S B ドライブの自動運転の試みと今後の展望」
	名城大学	大澤 定夫 氏
	45名	S B ドライブ株式会社 開発部

情報処理学会東海支部 研究会等協賛・後援一覧

年度 回数	開催日 分類	行事名 テーマ（演題） 主催者
2018年度 1	2018年5月11日 後援	NITech AI研究センターキックオフシンポジウム
		NITech AI研究センター
2	2018年7月11日 協賛	平成30年度専門講習会 「IoTの現状と今後」
		(一社)電子情報通信学会東海支部
3	2018年9月7日 協賛	第6回組込みシステム研究センターシンポジウム
		名古屋大学大学院情報学研究科附属組込みシステム研究センター
4	2018年11月10日 協賛	第16回情報学ワークショップ（WiNF 2018）
		第16回情報学ワークショップ実行委員会
5	2018年11月13日 協賛	プロジェクトマネジメント学会 中部支部シンポジウム
		一般社団法人 プロジェクトマネジメント学会
6	2018年11月14日 協賛	第6回講演会 「AIの未来。キカイの未来」
		一般社団法人日本機械学会東海支部
7	2018年12月7日 協賛	ソフトウェアテストシンポジウム2018東海（JaSST' 18 Tokai）
		JaSST' 18 Tokai実行委員会
8	2019年2月6日 2019年2月7日 協賛	フロンティア 2 1 エレクトロニクスショー2019 「ものづくりを支える最新のエレクトロニクス技術」
		中部エレクトロニクス振興会
9	2019年2月6日 2019年2月7日 後援	ET・IoT Technology NAGOYA 2019 ／組込み・IoT総合技術展名古屋
		一般社団法人組込みシステム技術協会
10	2019年3月6日 協賛	平成30年度専門講習会 『ビッグデータ時代のデータ分析者は何を武器とすべきか？』
		(一社)電子情報通信学会東海支部
11	2019年3月19日 2019年3月20日 後援	ネクスト・イノベーション・テクノロジーフェア2019
		一般社団法人中部産業連盟

2018年度学生研究発表会助成

助成募集概要

助成対象となる発表会：2018年3月1日～2019年2月28日の間に開催される研究発表会
複数大学の学生が発表すること。

発表する東海支部学生会員が10名以上。

申請期間：2018年3月1日～2019年2月28日

助成件数・予算額：1件、総額5万円以内

助成金額ガイドライン：参加学生会員1名3千円(申請1件につき上限5万円)。

応募多数の場合は、幹事会での審査により決定。

助成実施

発表会名：情報学ワークショップ (WiNF2018)

発表会実施日：2018年11月10日(土) **会場：**名古屋大学

申請者(所属)：小川 泰弘(名古屋大学)

助成額：42,000円

以上

2018年度 学生論文奨励賞選定結果

情報処理学会東海支部に所属する学生会員（卒業後1年未満の会員も含む）で、情報処理に関する学問や技術の分野において優秀な成果をあげ、その将来を嘱望される方に学生論文奨励賞を贈呈します。

選定対象：学生論文奨励賞を申請するには、以下の条件が必要です。

- ・学生会員（卒業後1年未満の会員も含む）であること。
- ・2018年度中に情報処理学会の論文誌、情報処理学会が主催または共催する国際会議・全国大会・研究会、シンポジウムのいずれかにおいて、自らの研究成果を第一著者として発表した方であること。応募論文は、情報処理学会の論文誌、情報処理学会が主催または共催する国際会議、全国大会・研究会、シンポジウムに限る。
- ・申請時に満30才以下であること。論文誌については、採録通知があれば対象。

申請期間：2019年1月15日(火)～3月15日(金)

審査期間：2019年3月下旬～2019年4月1日

選定委員会 日時：2019年4月11日（木）18:00～

場所：名古屋大学 IB 電子情報館南棟 4F462

選定委員：(敬称略)

委員長：村瀬支部長（名大）

委員：①白松 俊（名工大） ②鈴木 秀和（名城大） ③出口 大輔（名大）、
④鳥居 豊（デンソーITS） ⑤丹羽 恒（中電） ⑥森崎 修司（名大）
⑦奥田 隆史（県立大学） ⑧田口 亮（名工大） ⑨山下 隆義（中部大学）

応募件数：11件

受賞者：6名

表彰式：2019年5月20日 18時から 於：ルブラ王山

受賞者：氏名 （申請時所属） 『論文テーマ』

岩田 紗希 （名大） 『超低解像度赤外線画像からの人物姿勢推定の初期検討』

五十嵐 響 （愛知県立大） 『クラスの雰囲気良くする特殊エージェントの行動特性の分析』

鴨下 友馬 （名城大） 『不正パケットの高速な検出を実現する簡易認証方式の提案と評価』

2018年3月卒業

福井 宏 （中部大学） 『Global Average Pooling の特性を用いた Attention Branch Network』

内田 脩斗 （名大） 『Word2Vec における加算型単語ベクトルの効果と応用』

” 田中 久順 （名城大） 『NTMobile を利用した ECHONET Lite 機器のセキュア遠隔制御システム』

以上

2018年度おもしろ科学教室(結果報告)

1 「第11 回おもしろ科学教室」の概要

【趣旨】

日本の次世代科学技術を担う青少年の科学啓発等学会連携による地域社会科学技術理解増進活動の推進

【共催・協賛・後援】

共催：応用物理学会東海支部、電気学会東海支部、電子情報通信学会、情報処理学会東海支部、日本アマチュア無線連盟東海地方本部、日本赤外線学会、プラズマ・核融合学会、レーザー学会中部支部、日本弁理士会東海支部、名古屋大学工学研究科、豊田高専、総務省東海総合通信局、愛知県電波適正利用推進員協議会（順不同）

後援：中日新聞社、豊田工業高等専門学校

【具体的内容】

1) 対象：小学生、中学生、保護者

2) 目的：理科のおもしろさや楽しさを体験し、遊びの中で理科の色々な現象に対する興味と関心を持たせることによって理科好きの子供を育てるため、講演会、工作教室、展示を行う。

今年は、身近な印刷技術に関する講演をお願いするとともに、特殊印刷で削り屑の出ないスクラッチくじを印刷し、記念品を渡すと同時に、テキスト表紙の枠部分に「マイクロ文字」を印刷した。

3) 日時：平成 31 年 1 月 14 日（月）祝日、13 時から 16 時 00 分

場所：名古屋大学 IB 電子情報館中棟 1 階教室 4 教室及び 2 階大講義室

4) プログラム

12 時 00 分～受付開始

第 1 部

13 時 00 分～13 時 30 分 講演タイトル「印刷のしくみ」のお話し

講師：村瀬慎一様（ムラセ印刷株式会社）

13 時 30 分～14 時 00 分

電子紙芝居（日本弁理士会東海支部）

14 時 00 分～14 時 30 分 休憩・移動

第 2 部

13 時 30 分～（16 時まで継続）展示

①電子レンジでカラフルな放電、②プラズマボール、③人工ダイヤモンド氷カッター、④プラズマ・エネルギーに関するクイズなど（以上、プラズマ・核融合学会）、⑤自転車発電機（電気学会）、⑥アマチュア無線の公開運用、⑦無線交信体験、⑧モールス符号で遊ぼう（日本アマチュア無線連盟東海地方本部）、⑨ライントレースロボット（情報処理学会東海支部）⑩「ロボカップ」体験（豊田高専）

第 3 部

14 時 30 分～16 時 00 分 工作教室(予約制：各テーマ 30～50 名程度)

工作テーマ

①「電波でおにごっこ！キツネを探せ！」（小学校 1 年生以上）定員 50 名（アマチュア無線連盟）、②「息で重いものを持ち上げよう！怪力ボックス」（小学校 1 年生以上）定員 30 名（応用物理学会）、③「LED 電子万華鏡を作ろう！」（小学校 3 年生以上）定員 50 名（日本弁理士会）、④「見えない光で数えよう！赤外線カウンター」（中学生又は小学校 5 年生、6 年生）定員 25 名（日本赤外線学会・レーザー学会中部支部）

【担当責任者】

高井 吉明（実行委員会代表者）

愛知工業大学客員教授

豊田工業高等専門学校名誉教授、名古屋大学名誉教授

応用物理学会東海支部 評議員

電話0565-48-8121（内2120）

電子メール：takai@aitech.ac.jp

生田 博志（実行委員会副代表者）

名古屋大学大学院工学研究科物質科学専攻教授

応用物理学会東海支部

電話(052)789-4462

FAX (052)789-4463

電子メール：ikuta@mp.pse.nagoya-u.ac.jp

2 情報処理学会東海支部の活動

(1) 参加方法

「主催」として参加

会場担当：森崎幹事

(2) ロボット展示

展示担当：本田幹事

3 スケジュール

- ・11月初旬：工作テーマと講師・演題決定、チラシ原案作成
- ・12月初旬：募集開始、締め切り中旬、返信ハガキ（参加証）年末返送
- ・12月末：工作材料調達・加工、道具類の準備完了、アルバイト確保
- ・1月13日（日）午後、及び14日午前、リハーサル、案内等設営

4 結果・教室実績

全体参加者数：子供参加者 130名、保護者約 250名

第2部

ライントレースロボットの展示

ジュニア会員チラシ配布

実施額合計：50,000 円

（内訳）協賛金 50,000 円

5 次回に向けての申し送り事項

今回は参加者が少なかった昨年に反省して、チラシの配布区域を元に戻して広くした結果、広報はかなり行き渡り、多くの申し込みがあった。参加者の増加には記念品の効果もあったかも知れない。

また、IB カフェに関しては、11 時30 では遅いので開店を11 時からにして貰った。

以下は、気がついた反省事項

- 1) 「きつねを探せ」については、当日参加への問合せがメールでは時間的に対応が困難で、当日のみ受付の電話が必要かも知れません。
- 2) 工学部のゴミ処理に関する注意が事前にあり、教室内のゴミは主催者側で処理する事を徹底した。
- 3) 名古屋大学工学研究科の共催を得て実施したが、次年度もお願いする事とする。
- 4) 予算的な余裕があったのでテキストを印刷したが、可能な限り印刷したい。

以上